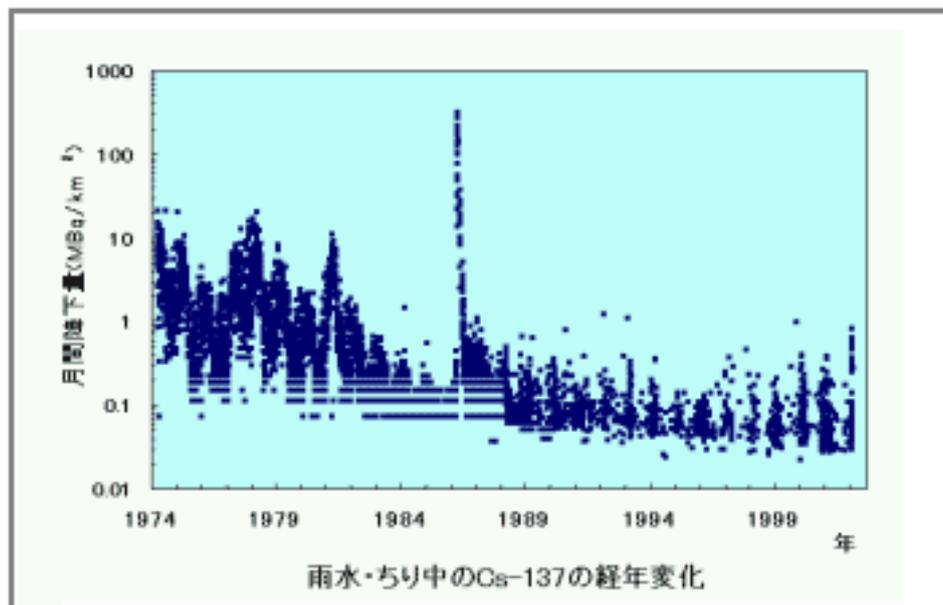


---

## QA20 放射能事故等の測定データへの影響は、空間線量率の変化にどのように表れるのですか

---

1981年以降大気圏内核実験が停止されたため、セシウム137の月間降下量は減少してまいりました。しかし、1986年にはチェルノブイリ原子力発電所事故の影響により空間線量率が一時的に増加しました。東京電力福島第一原子力発電所事故の前は、セシウム137の月間降下量は1970年代の20分の1程度のレベルになっていました。



---

出典：日本の環境放射能と放射線ウェブサイト Q&A より作成

出典の公開日：2005年10月24日

本資料への収録日：2012年12月26日